

# VMware vCloud Air 仮想プライベート クラウド

## vCloud Air の主なメリット

- **最も多くの種類のオペレーティング システムとアプリケーションをサポート：クラウドへの最短の道のり**  
vCloud Air は、VMware vSphere での動作が認定されている 5,000 以上のアプリケーションと数十種類のオペレーティング システムをサポートしています。このため、クラウドで実行する際も既存のアプリケーションに変更を加える必要なくクラウドで実行でき、ユーザーのニーズを満たすために信頼の基盤を活用できます。
- **シームレスなネットワーク統合：既存のデータセンターを超えた拡張**  
データセンターの物理的な制限を超えて、IT インフラストラクチャをクラウドへ拡張できます。運用方法は変わりません。
- **優れた信頼性と管理性：リスクと所有コストの削減**  
クラウド内でのアプリケーションの開発、展開、管理方法はこれまでと変わりません。アプリケーションの可用性は基盤となるプラットフォームで確保されるので、プラットフォームの制限に合わせてアプリケーションを再設計する必要はありません。
- **vSphere 管理ツールによる共通の管理**  
vCloud Air は、vSphere と同じプラットフォームで設計されており、vSphere Web Client、vCloud® Automation Center™、vCloud Connector、VMware vCenter™ Operations Management Suite™ などの管理ツールと連携します。
- **標準ストレージまたは SSD 活用型ストレージ**  
どちらのオプションでも、ダウンタイムなしで VMDK を容易に拡張し、必要なストレージ性能に応じて、別のストレージ層にワークロードを柔軟に移行できます。お客様のニーズに合わせてお選びいただけます。

## 仮想プライベート クラウド

VMware vCloud® Air™ 仮想プライベート クラウドは、安全性、機能性、拡張性に優れた、サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS) コンピューティング環境です。これを利用して、重要な本番ワークロードをパブリック クラウドへ移行し、新しいアプリケーションを展開できます。仮想プライベート クラウドは、VMware vSphere® を基盤とし、より大規模な専有型クラウド サービスと同じ設計要素を使用しています。これによりお客様は、ハイブリッドクラウドソリューションの大きなメリットと柔軟性を活用できます。

仮想プライベート クラウドは、コンピューティングリソース プール、標準ストレージまたは SSD 活用型ストレージ、本番環境のサポート、および豊富なネットワーク機能を含む、論理的に分離された、完全なマルチテナント IaaS (サービスとしてのインフラストラクチャ) コンピューティング ソリューションです。アドオンにより、ビジネス ニーズに合わせて仮想プライベート クラウドを拡張できます。仮想プライベート クラウドは、月単位と年単位のサブスクリプション契約で提供されます。

## サービスの詳細

仮想プライベート クラウドには、お客様のコンピューティングリソースとして、10 GHz の仮想 CPU と 20 GB の仮想メモリが含まれます。標準ストレージまたは SSD 活用型ストレージのいずれかを選択できます。オプションとして、Direct Connect、Data Protection などの追加サービスを組み込んだり、VMware が提供する管理ツールと統合することも可能です。

仮想プライベート クラウドは、ユーザーが操作する管理機能が含まれており、専用の仮想データセンター (VDC) と共にセットアップされます。また、完全なプライベート ネットワークと専用の Edge Gateway が含まれ、ユーザーがネットワーク設定を管理できます。帯域幅は 10 Mbps で、50 Mbps までバースト可能です。専有型クラウドと同様に、仮想プライベート クラウドにはファイアウォール、ロード バランサ、NAT、VPN、および高可用性などのネットワーク機能が無償で含まれます。

## ユース ケース

仮想プライベート クラウドは複数の用途に対応しており、パブリッククラウドへのユーザー環境の拡張に最適なソリューションです。

- **テスト / 開発**：仮想プライベート クラウドは、高いパフォーマンスを必要とせず、変化が大きいテスト / 開発環境での使用に最適です。
- **新しいエンタープライズ アプリケーション**：マルチティア アーキテクチャ スタックを仮想プライベート クラウドに展開できます。
- **次世代アプリケーションに対応**：新しい Web アプリケーションやモバイル アプリケーションの開発およびホスティングが可能です。

## 仮想プライベート クラウドのメリット

仮想プライベート クラウドは、ワークロードが比較的小さい、予算が限られている、またはコスト重視のお客様が、パブリック クラウドへの移行を開始する場合に最適なソリューションです。仮想プライベート クラウドは、専用のハードウェアを必要としないワークロードに最適なオプションで、マルチテナント環境に容易に展開できます。仮想プライベート クラウドの最小限のサブスクリプションバンドルでも本番環境のワークロードを処理することが可能です。また、ニーズに合わせて仮想プライベート クラウド内のリソースを増やすこともできます。

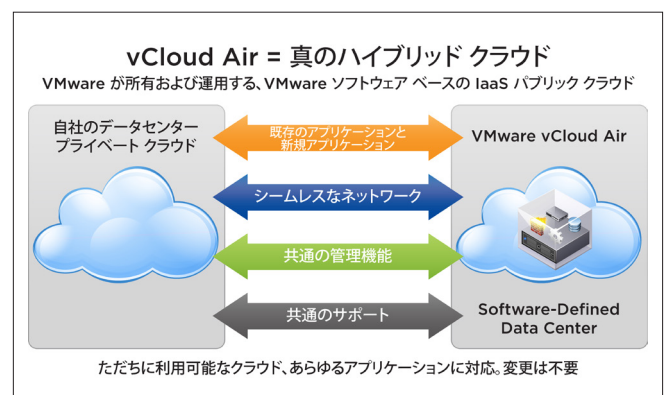
仮想プライベート クラウドは、vSphere を基盤として、多数の管理ツールと連携し、認定済みのアプリケーションやオペレーティング システムのカタログを提供しており、既存のインフラストラクチャの拡張や新しいパブリック クラウド環境の展開に最適なソリューションとなっています。

	仮想プライベート クラウド
コンピューティング	20 GB の仮想メモリ、 10 GHz の仮想 CPU マルチテナント
ストレージ	2 TB の標準ストレージまたは SSD 活用型 ストレージ
インターネット 帯域幅	10 Mbps の帯域幅 50 Mbps までバースト可能
パブリック IP	2 個を含む
アドオン	コンピューティング、ストレージ、 IP アドレス
追加オプション	Direct Connect、Data Protection、 Offline Data Transfer
Production Support (プロダクション サポート)	24 時間 365 日
サブスクリプション 期間	1 か月 3 か月 12 か月 24 か月 36 か月

## VMware vCloud Air について

vCloud Air は、VMware が所有および運営するパブリッククラウド プラットフォームで、信頼の VMware vSphere® を基盤として構築されています。このサービスは、既存のワークロードのほか、新しいアプリケーション開発をサポートするもので、IT 管理者や設計者が使いなれたツールやプロセスを利用して、既存のデータセンターをクラウドへシームレスに拡張するための共通のプラットフォームを提供します。vCloud Air は、この IaaS プラットフォームを

使用して、スタンドアローンのインフラストラクチャ サービスとディザスタ リカバリ サービスを提供します。インフラストラクチャのコンピューティング レイヤー、オペレーティング システム、アプリケーション カタログ、および各種管理ツールを VMware が提供し、完全なクラウド環境を実現します。vCloud Air では、使いなれた vSphere のツールを利用して、社内環境とパブリッククラウドの間で仮想マシンやワークロードを容易に移行できます。vCloud Air では、共通の管理プラットフォーム上で既存および新規のアプリケーションをサポートし、シームレスなネットワークを提供します。すべてのサポートは、vSphere と同様に VMware のプロフェッショナル サポート チームが担当します。信頼できるツールとサポートがあるからこそ、vCloud Air でパブリック クラウドへの拡張が容易に実現できるのです。



## サポート

VMware は、vCloud Air を利用されるすべてのお客様に、サブスクリプション サービス向けのサポートを提供しています。これには、ご利用中のサービスのサポートのほか、スペシャリストによる導入支援が含まれます。さらにご希望のお客様には、導入を開始するうえでのベスト プラクティスを提供する、コンサルティング サービスも用意しております。

## 購入方法

vCloud Air は、サブスクリプション サービスとして提供されます。専有型クラウド、仮想プライベート クラウド、およびディザスタ リカバリの各サービスは個別にご購入いただけます。ストレージのオプションとアドオンも別途購入可能です。ビジネスの成長に応じたキャパシティのニーズに合わせて、各サービスを拡張できます。サブスクリプション期間は、月単位または年単位です。

## 詳細情報

製品のご購入または詳細情報については、次の VMware vCloud Air Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/go/jp-vcloud-air/>

